

＜特許審査ハイウェイの要件及び提出書類 ～日本国出願に基づく外国特許庁への申請～＞

		米国	英国 独国(試行) ロシア(試行)	韓国 デンマーク(試行) オーストリア(試行) ハンガリー(試行)	フィンランド(試行)	EPO(試行)	カナダ(試行)	シンガポール(試行)	
要件	基本的要件	・日本国出願に特許可能と判断された請求項を有する ・外国出願の全ての請求項が、日本国出願の特許可能と判断された請求項と十分に対応している ・第一庁出願としての日本国出願に対してパリ条約上の優先権を主張している(PCT出願も可、ダイレクトPCT出願については下欄参照)					左に挙げた要件に加え、 ・カナダ知的財産庁は、当該カナダ出願について審査請求を受理している ・当該カナダ出願は公衆の閲覧に対して公開されている	＜要件＞(修正実体審査) 日本国特許庁とシンガポール知財庁に同じ発明を記載した特許出願が行われ、日本国特許庁において、シンガポール特許出願に対応する出願に特許が付与されている	
	ダイレクトPCT出願 ○:対象となる ×:対象とならない	○	○	○	○	○	○	○	
	外国特許庁にて既に審査が行なわれている場合 ○:申請可 ×:申請不可	×	×	○	○	○	×	×	
	PCT出願の国際段階成果物に基づくPPH申請の可否 (PCT－PPH)	○	×	×	○	○	×	×	
提出書類	(a) 外国出願の請求項と日本国出願の特許可能と判断された請求項との対応表		提出必要(省略不可)						＜提出書類:修正実体審査請求の書面に添付＞ (a) 日本国特許庁が認証した特許公報 (b) (a)の英訳 (c) 翻訳者による宣言書
	(b) 全てのオフィスアクションの写し、及びその翻訳文 (米国は特許査定直前のオフィスアクションの写し、及びその翻訳文のみ)	AIPN等により審査結果を提供している場合	・オフィスアクションの写しの提出不要 ・その翻訳文は提出する必要がある ・ただし、当該翻訳文をIDS書類として提出している場合には提出不要	提出不要					
		提供していない場合	提出必要(省略不可)				・オフィスアクションの翻訳文(英語又はフランス語)の提出のみ必要		
	(c) 特許可能と判断された請求項の写し、及びその翻訳文	AIPN等により審査結果を提供している場合	・請求項の写しの提出不要 ・ただし、その翻訳文は提出する必要がある	提出不要			・特許可能と判断された請求項の翻訳文(英語又はフランス語)の提出のみ必要		
		提供していない場合	提出必要(省略不可)				・特許可能と判断された請求項の翻訳文(英語又はフランス語)の提出のみ必要		
	(d) 日本国出願の審査において引用された文献		・米国特許文献であれば提出不要 ・米国特許文献以外であってもIDS書類として提出している場合には提出不要 ・非特許文献は提出が必要	・特許文献は原則提出不要 ・非特許文献は提出が必要 ・文献の翻訳文は原則提出不要			・特許文献は原則提出不要 ・非特許文献は提出が必要 ・文献の翻訳文については、カナダ知的財産庁の審査官が要求した場合には、提出する必要がある。ただし、AIPNで提供されている場合、提出不要。		

*AIPN＝Advanced Industrial Property Network、高度産業財産ネットワーク
包袋情報(出願人が提出した明細書等の書類、及び、拒絶理由通知書等の特許出願の審査に係る書類等)を、機械翻訳により英訳し、ネットワークを通じてリアルタイムに提供するシステム。